

令和4年度 芦屋町歴史民俗資料館事業実績報告

令和4年度芦屋町歴史民俗資料館事業として、下記のとおり事業を実施した。

(1) 年間入館者

- 年間入館者総数：3,527名
- うち有料入館者数：2,967名
- うち無料入館者数：560名（町公用・幼稚園など・身体障害者手帳掲示）

取組への評価・課題

- 令和3年度（3,022名）に対し、令和4年度（3,527名）は505名増加した。コロナ禍での自粛ムードが徐々に緩和され、外出の気運が高まったことが影響していると思われる。

(2) 特別企画展の実施

- 「源平合戦 モノノフの時代」〔4月29日～9月25日〕入館者1,610名。
 - ・会期中イベント：「ギャラリートーク」・・・（芦屋町歴史民俗資料館学芸員）
- 「芦屋かるた展」〔10月6日～12月25日〕入館者642名。
 - ・会期中イベント：「ギャラリートーク」・・・（芦屋町歴史民俗資料館学芸員）
- 「玉井家・吉田家・杉山家～人の望みと喜びと～」〔令和5年1月11日～5月7日〕入館者1,491名。内、令和4年度は1,002名。
 - ・会期中イベント：「ギャラリートーク」・・・（芦屋町歴史民俗資料館学芸員）

取組への評価・課題

- 令和4年度の特別展入館者数（3,254名）は、令和3年度（2,504名）に比べ750名増加した。「源平合戦モノノフの時代展」では、NHK大河ドラマの内容に合わせ、町内の遺跡を源平合戦関連遺跡として再評価し、郷土史と国史を同一視点で語ることができた。また、玉井家・吉田家・杉山家では新聞社・TV局の反応が良く、SNS等での情報拡散もあり、集客数増加につながった。

(3) 小・中学校との連携事業

○子ども達の郷土史理解を促進するため、下記のとおり資料館での受け入れを行った。

7月6日	山鹿小学校	11名
7月12日	山鹿小学校	60名
8月5日	芦屋小学校	10名
9月21日	山鹿小学校	14名
11月9日	山鹿小学校	8名
11月30日	山鹿小学校	37名
令和5年2月21日	芦屋東小学校	39名

取組への評価・課題

- 各小中学校の授業で資料館を活用してもらおうべく、働きかけを行う。

(4) 指定民俗行事の継承、育成

①八朔行事の継承・育成

- ・八朔の記念写真贈呈……………広報で募集 9名

9月28日に写真の贈呈式を行った。

②はねその継承・育成 (芦屋町はねそ保存会)

はねそ保存会の活動支援、老人会盆踊り大会等への参加支援。

中止 はねそ盆踊り (例年8月16日)

11月6日 木屋瀬おどり

取組への評価・課題

- 観光協会の声掛けのお陰もあり、八朔行事を行う家庭が増加している。
- はねそ保存会会員の高齢化が進んでいる。新規会員の加入促進を図るとともに、活動支援を行う。

(5) 歴史探訪ツアーの実施

○11月23日(水)

第1回「住吉神社と博多・鴻臚館」参加者12名

場所：鴻臚館、住吉神社、櫛田神社、博多町屋ふるさと館、東長寺、聖福寺、承天寺、千年門、鉄道公園

○12月17日(土)

第2回「門司港と大連航路」参加者12名

場所：門司電気通信レトロ館、門司港駅遠望、三宜楼、栄小路、栄町銀天街、中央市場、門司市民会館、レトロ地区、海峡プラザ、門司港駅、旧大連航路上屋

○令和5年3月21日(火)

第3回「肥前名護屋城と秀吉の夢」参加者16名

場所：名護屋城博物館、木下延俊陣屋跡、名護屋城址、徳川家康陣屋跡、名護屋港、山里口・広沢寺石段・茶室跡、堀秀治陣屋跡

取組への評価・課題

- 応募者が多く、ニーズが高い事業である。令和4年度は、3回とも参加者の評価は高かった。参加者がリピーターで固定化する傾向にあり、機会の均等を図ることが課題である。

(6) 出前講座、講師の派遣等 (学芸員の派遣)

○5月12日(木) 遠賀川物語～古代から中世～	宮若市の図書館友の会	22名
○6月28日(火) 荘園と源平合戦	北九州年長者研修大学校穴生学舎	36名
○7月14日(木) 遠賀川物語～古代から中世～	宮若市の図書館友の会	22名
○7月26日(火) 葦屋浦の戦い	北九州年長者研修大学校穴生学舎	36名
○8月30日(火) 芦屋町内史跡巡り	北九州年長者研修大学校穴生学舎	36名
○9月22日(木) 同和問題に関する芦屋町の芸能文化	北九州教育事務所	18名
○10月8日(土) 歴史散策ウォーク	高須地区まちづくり協議会	54名
○10月22日(土) 芦屋の寺中とその周辺	直方市郷土史会	10名
○12月3日(土) 芦屋役者と大国座	飯塚市歴史資料館	10名
○令和5年1月18日(水) 芦屋の歴史について①	北九州年長者研修大学校穴生学舎	36名

- 令和5年1月25日（水） 芦屋の歴史について② 北九州年長者研修大学校穴生学舎 36名
- 令和5年2月16日（木） 玉井家・吉田家・杉山家～人の望みと喜びと～北九州文化研究会 18名
- 令和5年3月26日（日） 玉井家・吉田家・杉山家～人の望みと喜びと～花美坂サロン 18名
- 令和5年3月28日（火） 芦屋の古代史について 遠賀ロータリークラブ 20名

取組への評価・課題

- 町の出前講座等を積極的に活用し、今後も芦屋の歴史や文化のPRを実施する。

(7) 体験学習等講座の開催

- 5月28日（土） 化石探検① 参加者30名 場所：歴史民俗資料館、洞山周辺
- 6月19日（日） 郷土史跡めぐり（若松歴史散策）「石炭積み出しと吉田家 花と龍の世界」
参加者10名 場所：弁財天上陸場、旧ごんぞう小屋、石炭会館、旧古河
鋳業若松ビル、上野ビル、わかちく資料館、若松恵比寿神社、吉田磯吉邸
跡、明治町銀天街、安養寺（葦平・玉井家墓所）、火野葦平旧宅、高塔山
- 6月26日（日） 八朔わら馬づくり講習会 参加者16名
- 8月6日（土） 大珠・勾玉づくり講座 参加者4名
- 9月23日（金） 郷土史跡めぐり（直方歴史散策）「炭鋳レトロ」参加者12名
場所：円徳寺、雲心寺、多賀神社、多賀町公園（貝島太助像）、直方谷尾
美術館、直方市石炭記念館、直方城址

取組への評価・課題

- 化石探検は多くの申込みがあり、ニーズが高い事業である。引き続き、魅力あるテーマを探し、体験学習の機会を充実させたい。